

I-4 日本人の旅行に対する意識

■ 行ってみたい旅行

行ってみたい旅行先（国内）は北海道、沖縄県、京都府
 行ってみたい旅行先（海外）は、ハワイ、
 イタリア、アメリカ合衆国本土
 行ってみたい旅行タイプは温泉、自然、グルメ

ここでは、日本人の行ってみたい旅行について詳しくみていく。なお、ここで分析に用いたデータは、全て「JTBF旅行意識調査」に基づいている。

(1) 行ってみたい旅行先（国内旅行・海外旅行）

「今後1～2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行先（国、都市、観光スポット）」について、具体的な地名を国内・海外それぞれ行きたい順に3つまで自由に回答してもらった（表I-4-1）。

表I-4-1 行ってみたい旅行先

国内旅行

順位	2019年		2018年	
	地域名	合計ポイント	地域名	合計ポイント
1位	北海道	1,793	北海道	1,647
2位	沖縄県	1,335	沖縄県	1,204
3位	京都府	453	京都府	523
4位	東京都	332	東京都	284
5位	大阪府	312	大阪府	241
6位	長崎県	259	九州地方	230
7位	九州地方	240	鹿児島県	187
7位	石川県	240	石川県	171
9位	鹿児島県	215	長崎県	169
10位	千葉県	184	千葉県	164
11位	静岡県	173	長野県	148
12位	東北地方	170	東北地方	134
13位	福岡県	147	四国地方	132
14位	四国地方	141	静岡県	129
15位	三重県	140	広島県	111
16位	広島県	133	三重県	103
17位	神奈川県	118	島根県	100
18位	長野県	111	青森県	99
18位	島根県	111	大分県	98
20位	大分県	86	福岡県	92
20位	富山県	86	神奈川県	74
22位	和歌山県	85	和歌山県	71
23位	青森県	84	栃木県	69
24位	奈良県	81	熊本県	67
25位	福島県	75	兵庫県	62
26位	兵庫県	71	宮城県	60
27位	宮城県	66	奈良県	58
28位	山梨県	64	新潟県	57
29位	群馬県	61	富山県	56
30位	岐阜県	59	宮崎県	54

ただし、最も行きたい地域を3ポイント、2番目に行きたい地域を2ポイント、3番目に行きたい地域を1ポイントとして、その合計値をランキングにしている。

その結果、国内では北海道が最も高く、初回調査時（1988年）より連続して首位を維持している。次いで沖縄県、京都府、東京都、大阪府の順となり、沖縄県以降については、都市部が続いた。

2018年の結果と比較すると、上位10位までの都道府県の顔ぶれに変更はなかった。昨年度順位を上げた長崎県（2017年10位）が、さらに順位を上げた。具体的には、五島列島やハウステンボス、軍艦島など様々なスポットの回答が見られた。また、最も順位を上げたのは、福島県（17年41位、18年39位）であった。

海外では、ハワイが最も高く、続いてイタリア、アメリカ合衆国本土となった。

海外旅行

順位	2019年		2018年	
	地域名	合計ポイント	地域名	合計ポイント
1位	ハワイ	1,247	ハワイ	1,019
2位	イタリア	536	アメリカ合衆国本土	428
3位	アメリカ合衆国本土	458	イタリア	424
4位	フランス	338	オーストラリア	340
5位	オーストラリア	332	フランス	318
6位	台湾	313	台湾	268
7位	韓国	244	カナダ	238
8位	スペイン	243	イギリス	229
9位	グアム	240	グアム	215
10位	カナダ	206	韓国	206
11位	シンガポール	204	シンガポール	196
12位	スイス	175	スイス	189
13位	英国	166	スペイン	166
14位	ドイツ	132	ドイツ	158
15位	タイ	120	中国	117
16位	バリ	110	タイ	115
17位	ベトナム	106	ニュージーランド	102
18位	ヨーロッパ	104	ヨーロッパ	94
19位	ニュージーランド	81	パリ	72
20位	中国	67	エジプト	59
21位	フィンランド	61	トルコ	58
22位	香港	56	ベトナム	53
23位	トルコ	53	オーストリア	44
24位	ギリシャ	49	フィンランド	42
25位	マレーシア	45	ペルー	42
25位	オーストリア	45	インド	37
27位	エジプト	41	アラブ首長国連邦	34
28位	インド	40	ロシア	34
29位	ロシア	38	タヒチ	32
30位	オランダ	36	オランダ	30

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(2) 行ってみたい旅行タイプ

「今後1~2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行タイプ」として当てはまるものを選択肢一覧表(表I-4-2)から全て選んでもらった結果、行ってみたい旅行タイプ(複数回答)は、「温泉旅行」(49.8%)・「自然観光」(49.8%)、「グルメ」(42.3%)、「歴史・文化観光」(41.9%)、の順となった(図I-4-1)。

表I-4-3では、性・年代別にランキング形式で示している。男性では、どの年代でも「温泉旅行」の人气が高く、上位3位以内に挙がっている。50代以上では、「温泉旅行」に加え、「歴史・文化観光」が上位を占める。

表I-4-2 行ってみたい旅行タイプ 選択肢一覧

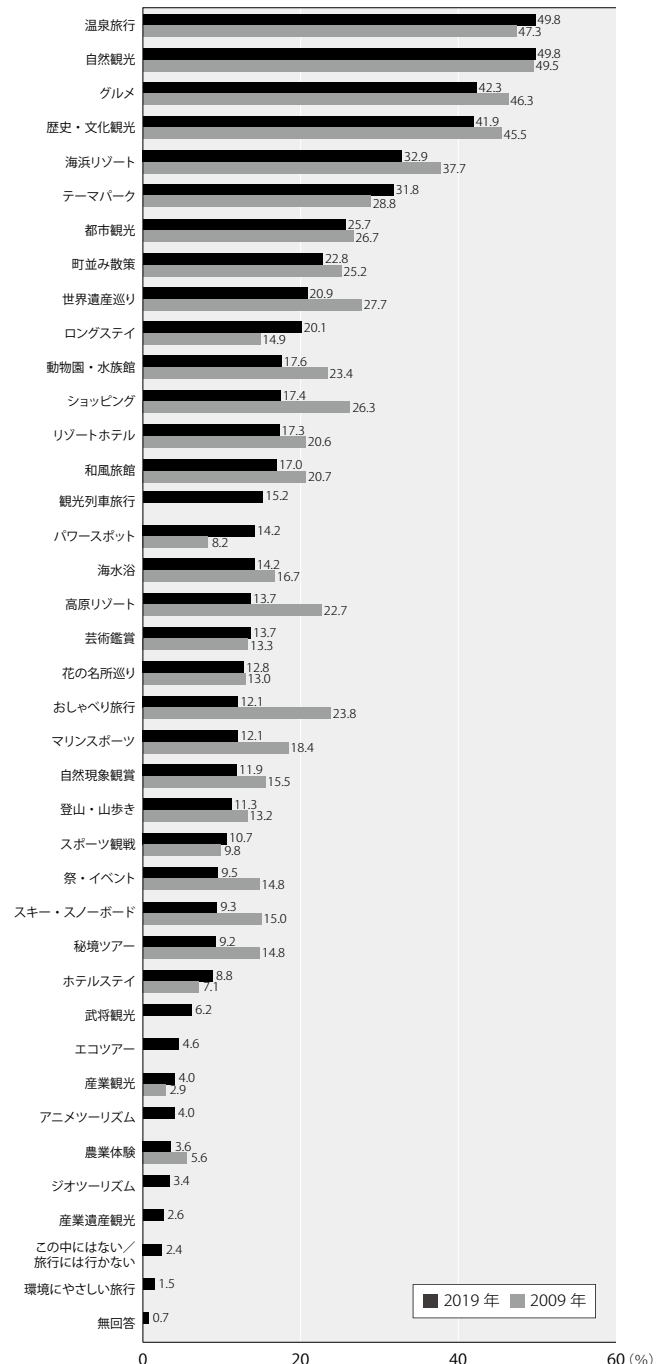
旅行タイプ名	内容	
1	自然観光	自然や景勝地を見てまわる観光旅行
2	歴史・文化観光	歴史や文化的な名所を見てまわる観光旅行
3	海浜リゾート	海辺でゆったり過ごす旅行
4	高原リゾート	高原でゆったり過ごす旅行
5	都市観光	街や都市で楽しむ旅行
6	温泉旅行	温泉を楽しむ旅行
7	祭・イベント	祭やイベントを楽しむ旅行
8	テーマパーク	テーマパークや遊園地で楽しむ旅行
9	動物園・水族館	動物園や水族館で楽しむ旅行
10	グルメ	おいしいものを食べる旅行
11	スキー・スノーボード	スキーを楽しむ旅行
12	マリンスポーツ	マリンスポーツを楽しむ旅行
13	登山・山歩き	登山や山歩きを楽しむ旅行
14	海水浴	海水浴を楽しむ旅行
15	ショッピング	ショッピングを楽しむ旅行
16	芸術鑑賞	演劇、音楽、展覧会等を楽しむ旅行
17	スポーツ観戦	スポーツ観戦を楽しむ旅行
18	花の名所巡り	桜やハープなどの花の名所を訪ねる旅行
19	自然現象観賞	珍しい自然現象を見に行く旅行
20	秘境ツアー	秘境を訪ねる旅行
21	町並み散策	美しい町並みを楽しむ旅行
22	リゾートホテル	リゾートホテルに泊まる旅行
23	和風旅館	落ち着いた和風旅館に泊まる旅行
24	おしゃべり旅行	仲間や家族と楽しく過ごす旅行(みるもの、遊ぶものにはこだわらない)
25	世界遺産巡り	世界遺産を巡る旅行
26	ロングステイ	ロングステイを楽しむ旅行
27	パワースポット	神秘的な力・エネルギーの宿場所を訪れる旅行
28	ホテルステイ	ホテルの旅館内での滞在そのものを主目的とした旅行
29	環境にやさしい旅行	旅行中に排出したCO2を減らすための料金負担など、環境に配慮した旅行
30	エコツアー	自然を楽しみ、自然や環境を学ぶ旅行
31	農業体験	農山漁村などの環境やふるさと体験を楽しむ旅行
32	産業観光	工場見学やものづくり現場の見学・体験を楽しむ旅行
33	産業遺産観光	鉱山や紡績場などかつて栄えた産業跡を訪れる旅行
34	武将観光	戦国武将にまつわる名所・旧跡を訪れる旅行
35	ジオツーリズム	地質や地形など地球科学的な現象に対する理解を深める旅行
36	アニメツーリズム	アニメマンガに関連する場所や施設、イベントを楽しむ旅行
37	観光列車旅行	内外装を凝らし、味覚を楽しみながら旅行が出来るなど、乗ること自体を目的とした列車旅行
38	この中にはない/旅行には行かない	

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

女性では、20代から30代において「グルメ」と「テーマパーク」の人气が高く、回答者全体の5割以上が行ってみたいと回答している。これらの旅行タイプの希望率は年代が上がるにつれて少なくなり、「温泉旅行」の人气が高くなる。

また、表I-4-3における性・年代別のランキングを、2019年と2009年で比較すると、全体でポイントを上げた「テーマパーク」については、男性の20代、50代、女性の20代、30代、50代で順位を上げている。また、全体で大きくポイントを下げた「世界遺産巡り」については、20代男性(2019年19位、2009年8位)で大きく順位を落としている。

図I-4-1 行ってみたい旅行タイプ(複数回答)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-3 性・年代別 行ってみたい旅行タイプ(複数回答)(単位:%)

男性20代

		2019年	2009年	
1位	自然観光	51.0	45.2	(1位)
2位	温泉旅行	39.2	31.8	(6位)
3位	海浜リゾート	37.3	40.1	(4位)
	グルメ	37.3	41.0	(3位)
5位	テーマパーク	35.3	29.0	(7位)
6位	歴史・文化観光	30.4	42.9	(2位)
	都市観光	30.4	35.5	(5位)
8位	ロングステイ	25.5	16.1	(19位)
9位	動物園・水族館	18.6	20.3	(14位)
10位	町並み散策	17.6	23.5	(13位)

男性30代

		2019年	2009年	
1位	温泉旅行	49.6	49.3	(3位)
2位	グルメ	48.0	51.7	(1位)
3位	海浜リゾート	41.7	50.2	(2位)
4位	自然観光	37.0	42.5	(5位)
	テーマパーク	37.0	45.9	(4位)
6位	歴史・文化観光	30.7	39.1	(6位)
7位	都市観光	25.2	32.9	(7位)
8位	海水浴	24.4	30.9	(9位)
9位	マリンスポーツ	18.1	26.6	(11位)
	スポーツ観戦	18.1	19.8	(19位)

男性40代

		2019年	2009年	
1位	自然観光	48.0	44.1	(3位)
2位	グルメ	45.4	40.2	(4位)
3位	温泉旅行	41.4	45.1	(1位)
4位	歴史・文化観光	39.5	37.7	(5位)
5位	海浜リゾート	38.8	45.1	(1位)
6位	テーマパーク	36.2	27.9	(6位)
7位	都市観光	23.0	21.6	(12位)
8位	動物園・水族館	19.1	21.1	(13位)
9位	世界遺産巡り	18.4	22.5	(8位)
	町並み散策	18.4	15.2	(19位)

男性50代

		2019年	2009年	
1位	自然観光	50.8	57.3	(1位)
2位	温泉旅行	46.9	39.0	(4位)
3位	歴史・文化観光	43.1	46.9	(2位)
4位	グルメ	36.9	42.7	(3位)
5位	海浜リゾート	30.8	31.0	(5位)
6位	都市観光	24.6	23.9	(8位)
7位	テーマパーク	23.1	20.2	(10位)
8位	町並み散策	20.8	22.5	(9位)
9位	ロングステイ	19.2	15.5	(16位)
10位	世界遺産巡り	16.2	26.8	(6位)

男性60代

		2019年	2009年	
1位	自然観光	55.6	57.4	(1位)
2位	温泉旅行	54.0	49.3	(3位)
3位	歴史・文化観光	47.6	49.8	(2位)
4位	グルメ	36.5	32.5	(4位)
5位	海浜リゾート	29.4	25.4	(5位)
6位	都市観光	21.4	18.2	(10位)
7位	ロングステイ	19.8	6.7	(24位)
8位	観光列車旅行	17.5	調査なし	
9位	世界遺産巡り	16.7	23.9	(6位)
10位	町並み散策	15.9	18.2	(10位)

男性70代

		2019年	2009年	
1位	歴史・文化観光	60.8	46.6	(2位)
2位	自然観光	57.7	52.5	(1位)
3位	温泉旅行	51.5	45.8	(3位)
4位	町並み散策	32.0	12.7	(13位)
5位	和風旅館	23.7	16.9	(10位)
6位	グルメ	22.7	31.4	(4位)
7位	観光列車旅行	19.6	調査なし	
8位	都市観光	18.6	19.5	(7位)
9位	世界遺産巡り	17.5	22.9	(5位)
10位	自然現象鑑賞	16.5	13.6	(11位)

女性20代

		2019年	2009年	
1位	グルメ	60.4	61.5	(2位)
2位	テーマパーク	59.4	50.0	(6位)
3位	温泉旅行	51.5	59.1	(3位)
4位	海浜リゾート	48.5	63.0	(1位)
5位	自然観光	37.6	52.4	(4位)
6位	歴史・文化観光	32.7	49.5	(7位)
	都市観光	32.7	42.8	(8位)
8位	動物園・水族館	30.7	42.8	(8位)
9位	ショッピング	29.7	51.0	(5位)
10位	ロングステイ	24.8	25.5	(18位)

女性30代

		2019年	2009年	
1位	テーマパーク	60.8	60.4	(2位)
2位	自然観光	58.3	42.7	(7位)
3位	グルメ	54.2	63.1	(1位)
4位	温泉旅行	53.3	54.2	(4位)
5位	海浜リゾート	48.3	55.1	(3位)
6位	歴史・文化観光	40.0	43.6	(6位)
7位	動物園・水族館	32.5	38.7	(8位)
8位	都市観光	31.7	32.4	(11位)
9位	リゾートホテル	30.8	34.2	(9位)
	海水浴	30.8	32.4	(11位)

女性40代

		2019年	2009年	
1位	グルメ	55.2	55.6	(1位)
2位	自然観光	49.0	45.9	(2位)
	歴史・文化観光	49.0	43.4	(5位)
4位	テーマパーク	48.3	44.4	(4位)
	温泉旅行	48.3	42.4	(6位)
6位	海浜リゾート	42.7	45.9	(2位)
7位	都市観光	35.7	27.8	(10位)
8位	パワースポット	28.0	11.7	(24位)
9位	動物園・水族館	25.9	22.0	(15位)
10位	ショッピング	24.5	37.6	(7位)

女性50代

		2019年	2009年	
1位	温泉旅行	56.4	53.4	(2位)
2位	グルメ	52.5	51.5	(4位)
3位	歴史・文化観光	50.5	53.9	(1位)
4位	自然観光	43.6	53.4	(2位)
5位	テーマパーク	35.6	19.9	(15位)
6位	世界遺産巡り	34.7	33.0	(5位)
7位	海浜リゾート	33.7	31.1	(6位)
8位	町並み散策	31.7	30.6	(7位)
9位	芸術鑑賞	30.7	18.4	(17位)
10位	都市観光	28.7	24.8	(11位)

女性60代

		2019年	2009年	
1位	自然観光	55.5	54.2	(1位)
2位	温泉旅行	53.1	49.0	(3位)
3位	歴史・文化観光	39.8	49.5	(2位)
4位	グルメ	32.0	37.0	(4位)
5位	世界遺産巡り	28.9	30.2	(5位)
6位	町並み散策	28.1	30.2	(5位)
7位	観光列車旅行	24.2	調査なし	
8位	リゾートホテル	23.4	13.5	(20位)
	花の名所巡り	23.4	20.8	(11位)
10位	海浜リゾート	21.1	15.1	(16位)

女性70代

		2019年	2009年	
1位	自然観光	59.8	50.8	(2位)
2位	温泉旅行	56.1	51.5	(1位)
3位	花の名所巡り	43.2	24.6	(8位)
4位	歴史・文化観光	42.4	43.8	(3位)
5位	町並み散策	32.6	26.9	(5位)
6位	観光列車旅行	30.3	調査なし	
7位	世界遺産巡り	27.3	26.9	(5位)
8位	グルメ	26.5	39.2	(4位)
9位	和風旅館	23.5	24.6	(8位)
10位	芸術鑑賞	22.0	20.8	(11位)

資料:(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

(3) 旅行タイプ別の行ってみたい旅行先

ここでは、行ってみたいと回答した旅行タイプについて、それぞれの行ってみたい旅行先を国内・海外問わずに自由に回答してもらい、それらの回答を国内は都道府県別（または地方別）、海外は国別（または島別）に整理して集計した（表I-4-4、表I-4-5）。

自然観光では、「北海道」が最も多く、2位以下を大きく引き離す結果となっている。

歴史・文化観光では、「京都府」が圧倒的なシェアを占め1位となり、次いで「イタリア」が2位となっている。

海浜リゾートでは、「ハワイ」「沖縄県」の人气が高く、両者で7割を占める。

高原リゾートでは、「長野県」が半数近くを占め1位となっている。具体的な表記をみると、軽井沢や上高地など複数の地名がリゾートとして挙げられている。

都市観光では、「東京都」が最も多く、次いで「アメリカ合衆国」となっている。

温泉では、由布院や別府など著名な温泉地を有する「大分県」が最も多く、次いで草津を有する「群馬県」となっている。

祭・イベントでは、ねぶた祭りで知られる「青森県」が最も多く、2位以降は祇園祭ほか伝統的な祭りの多い「京都府」や竿燈まつりが有名な「秋田県」などで回答が分散している。

テーマパークでは、2009年の調査では圧倒的な人気だった東京ディズニーリゾートが位置する「千葉県」を抜いて、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを有する「大阪府」が1位となっている。年々「千葉県」と「大阪府」のシェアの差が小さくなりつつあったが、今年初めて順位が逆転した。

動物園・水族館では、沖縄美ら海水族館を有する「沖縄県」が最も多く、次いで旭山動物園が位置する「北海道」となっている。2009年調査と比較すると、順位は逆転し、半数近くを占めていた「北海道」のシェアが縮小し、「沖縄県」のシェアが拡大していることがわかる。

グルメでは、「北海道」が他を大きく引き離して1位となっている。2009年調査と比較すると、海外の地域については、「台湾」の順位が大きく上昇している。

スキー・スノーボードでは、「北海道」が最も多く、2位は「長野県」、3位は「新潟県」が続く。

マリンスポーツでは、「沖縄県」が約4割を占め1位、2位以下は「ハワイ」「グアム」をはじめとした海外の旅行先が上位を占める結果となっている。

登山・山歩きでは、富士山を有する「静岡県」「山梨県」が上位を占めている。

海水浴では、「沖縄県」「ハワイ」の人气が高く、3位に「グアム」が続いている。

ショッピングでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「韓国」となっている。3位の東京以外は海外の旅行先が上位を占めている。

芸術鑑賞では、「東京都」が最も多く、次いで「フランス」「イタリア」「アメリカ合衆国」「オーストリア」と海外の旅行先が上

位を占めている。

スポーツ観戦では、「東京都」が最も多く、次いで「アメリカ合衆国」という結果となっている。

花の名所巡りでは、「北海道」が最も多く、2位以下に大きく差をつけている。2009年調査と比較すると、「京都府」のシェアが大きく減少している。

自然現象鑑賞は、オーロラ鑑賞で有名な「カナダ」が1位となり、続いて流水で有名な「北海道」が上位を占めた。

秘境ツアーでは、屋久島のある「鹿児島県」が最も多く、次いで「沖縄県」「ペルー」となっている。

町並み散策は、「京都府」が最も多く、「イタリア」が2位となっている。2009年調査と比較すると、2015年に北陸新幹線が開通した「石川県」の順位が大きく上昇している。

リゾートホテルは、「沖縄県」「ハワイ」の人气が高く、3位以下と大きく差をつけている。

和風旅館では、「京都府」が最も多く、次いで「石川県」「神奈川県」となっている。

見るもの、遊ぶものにこだわらず、仲間や家族と楽しく過ごすおしゃべり旅行では、「北海道」が多い。

世界遺産巡りについては、世界遺産の登録数が最も多い「イタリア」が1位、次いで「フランス」という結果となっている。旅行先の上位は海外が占めている。

ロングステイでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「沖縄県」「アメリカ合衆国」となっている。

パワースポットでは、「ハワイ」が最も多く、伊勢神宮の位置する「三重県」が続く。

ホテルステイでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「東京都」「北海道」となっている。2009年は国内の有名な温泉地を持つ県が占めていた。

ジオツーリズムでは、火山の多い「アイスランド」が1位、次いで「ハワイ」「オーストラリア」という結果になっている。

アニメツーリズムでは、「東京都」が最も多く2位以下を引き離している。具体的には「三鷹の森ジブリ美術館」や「秋葉原」といった地名が多く挙げられている。

観光列車旅行では、「九州地方」が最も多く2位以下を引き離している。具体的には2013年に運行を開始した「ななつ星in九州」が多く挙げられている。

エコツアーでは、知床を有する「北海道」が最も多い。

産業遺産観光では、富岡製糸場と絹産業遺産群を有する「群馬県」が最も多い。

武将観光では、「長野県」が最も多く、次いで「山梨県」となっている。具体的には松本や上田の地名が多く挙げられている。

表I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2019年・2009年)(単位:%) 一次ページにつづく

自然観光

2019年(回答数:742)			2009年(回答数:1,114)		
1位	北海道	22.4%	1位	北海道	25.0%
2位	沖縄県	8.0%	2位	沖縄県	7.9%
3位	ハワイ	7.0%	3位	鹿児島県	6.6%
4位	鹿児島県	5.4%	4位	カナダ	5.7%
5位	オーストラリア	4.7%	5位	ハワイ	4.5%

歴史・文化観光

2019年(回答数:625)			2009年(回答数:1,038)		
1位	京都府	24.0%	1位	京都府	28.2%
2位	イタリア	9.0%	2位	イタリア	12.8%
3位	奈良県	5.6%	3位	フランス	6.3%
4位	沖縄県	4.2%	4位	エジプト	3.8%
5位	フランス	3.8%	5位	奈良県	3.6%

海浜リゾート

2019年(回答数:490)			2009年(回答数:870)		
1位	ハワイ	38.0%	1位	沖縄県	32.8%
2位	沖縄県	33.1%	2位	ハワイ	30.1%
3位	グアム	5.1%	3位	インドネシア	3.6%
4位	パリ	4.5%	4位	グアム	3.4%
5位	静岡県	2.9%	5位	静岡県	3.0%

高原リゾート

2019年(回答数:204)			2009年(回答数:506)		
1位	長野県	48.5%	1位	長野県	47.0%
2位	栃木県、北海道	9.8%	2位	スイス	9.9%
			3位	北海道	8.7%
4位	山梨県	6.9%	4位	栃木県	6.3%
5位	スイス	3.4%	5位	静岡県	1.8%

都市観光

2019年(回答数:383)			2009年(回答数:611)		
1位	東京都	25.6%	1位	東京都	23.7%
2位	アメリカ合衆国	13.6%	2位	アメリカ合衆国	13.9%
3位	大阪府	7.6%	3位	イタリア	6.4%
4位	イタリア	6.0%	4位	フランス	5.7%
5位	京都府、シンガポール、フランス	3.7%	5位	神奈川県	4.6%

温泉旅行

2019年(回答数:742)			2009年(回答数:1,040)		
1位	大分県	16.4%	1位	大分県	15.4%
2位	群馬県	12.5%	2位	群馬県	10.6%
3位	静岡県	7.3%	3位	静岡県	8.7%
4位	神奈川県	6.7%	4位	北海道	7.6%
5位	九州地方	6.1%	5位	神奈川県	7.4%

祭・イベント

2019年(回答数:141)			2009年(回答数:332)		
1位	青森県	18.4%	1位	青森県	25.6%
2位	秋田県、大阪府、京都府、東北地方	5.0%	2位	京都府	9.9%
			3位	北海道	6.6%
			4位	東京都	6.3%
			5位	岐阜県	4.5%

テーマパーク

2019年(回答数:474)			2009年(回答数:671)		
1位	大阪府	38.2%	1位	千葉県	49.0%
2位	千葉県	36.5%	2位	東京都	15.5%
3位	東京都	8.4%	3位	大阪府	10.3%
4位	長崎県	5.9%		アメリカ合衆国	10.3%
5位	アメリカ合衆国	5.1%	5位	山梨県	2.1%

動物園・水族館

2019年(回答数:262)			2009年(回答数:530)		
1位	沖縄県	27.9%	1位	北海道	47.7%
2位	北海道	25.6%	2位	沖縄県	19.4%
3位	和歌山県	8.0%	3位	神奈川県	4.9%
4位	東京都	5.7%	4位	東京都	3.8%
5位	大阪府	5.0%	5位	大阪府	3.0%

グルメ

2019年(回答数:631)			2009年(回答数:1,019)		
1位	北海道	40.7%	1位	北海道	48.5%
2位	韓国	6.7%	2位	韓国	4.9%
3位	台湾	6.0%	3位	イタリア	4.3%
4位	福岡県	5.1%	4位	京都府、大阪府	3.5%
5位	イタリア	4.0%			

スキー・スノーボード

2019年(回答数:139)			2009年(回答数:350)		
1位	北海道	51.8%	1位	北海道	45.4%
2位	長野県	15.8%	2位	長野県	19.1%
3位	新潟県	10.8%	3位	カナダ	9.1%
4位	群馬県	3.6%	4位	新潟県	7.7%
5位	宮城県、山形県	2.9%	5位	スイス	4.6%

マリンスポーツ

2019年(回答数:180)			2009年(回答数:436)		
1位	沖縄県	42.2%	1位	沖縄県	50.2%
2位	ハワイ	28.3%	2位	ハワイ	21.3%
3位	グアム	7.8%	3位	グアム	6.4%
4位	オーストラリア、東京都	3.9%	4位	オーストラリア	4.1%
			5位	サイパン	2.3%

登山・山歩き

2019年(回答数:168)			2009年(回答数:293)		
1位	静岡県	29.2%	1位	静岡県	19.1%
2位	山梨県	28.0%	2位	長野県	17.1%
3位	長野県	19.6%	3位	鹿児島県	8.2%
4位	鹿児島県	7.1%	4位	スイス	6.5%
5位	岐阜県、スイス	6.0%	5位	中部地方	5.1%

海水浴

2019年(回答数:211)			2009年(回答数:382)		
1位	沖縄県	42.2%	1位	沖縄県	30.9%
2位	ハワイ	25.1%	2位	ハワイ	29.3%
3位	グアム	6.6%	3位	静岡県	6.3%
4位	静岡県	5.7%	4位	グアム	4.7%
5位	和歌山県	4.3%	5位	千葉県	4.5%

ショッピング

2019年(回答数:260)			2009年(回答数:605)		
1位	ハワイ	30.0%	1位	ハワイ	32.9%
2位	韓国	15.8%	2位	韓国	14.7%
3位	東京都	11.9%	3位	東京都	13.7%
4位	フランス	4.6%	4位	フランス	4.3%
5位	イタリア	4.2%	5位	イタリア	4.1%

芸術鑑賞

2019年(回答数:204)			2009年(回答数:296)		
1位	東京都	20.6%	1位	東京都	30.1%
2位	フランス	15.2%	2位	アメリカ合衆国	12.8%
3位	イタリア	8.3%	3位	フランス	12.2%
4位	アメリカ合衆国	8.3%	4位	オーストラリア	7.8%
5位	オーストラリア	7.8%	5位	イタリア	6.1%

資料:(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

表I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2019年・2009年)(単位:%) 一つづき

スポーツ観戦

2019年(回答数:159)			2009年(回答数:227)		
1位	東京都	22.6%	1位	アメリカ合衆国	25.6%
2位	アメリカ合衆国	21.4%	2位	東京都	11.9%
3位	スペイン	10.1%	3位	イギリス	7.9%
4位	イタリア	5.0%	4位	スペイン	7.5%
5位	イギリス、兵庫県	3.8%	5位	イタリア	6.2%

花の名所巡り

2019年(回答数:191)			2009年(回答数:278)		
1位	北海道	20.4%	1位	北海道	16.9%
2位	青森県	9.4%	2位	京都府	16.2%
3位	長崎県	7.3%	3位	青森県	12.2%
4位	茨城県、栃木県、福島県	3.1%	4位	奈良県	6.8%
			5位	長野県	4.0%

自然現象観賞

2019年(回答数:178)			2009年(回答数:343)		
1位	カナダ	11.8%	1位	アラスカ	12.5%
2位	北海道	10.1%	2位	カナダ	12.0%
3位	フィンランド	7.9%	3位	フィンランド	8.5%
4位	ハワイ	4.5%	4位	北海道	5.8%
5位	アラスカ、オーストラリア	3.4%	5位	沖縄県	5.0%

秘境ツアー

2019年(回答数:137)			2009年(回答数:329)		
1位	鹿児島県	9.5%	1位	鹿児島県	12.5%
2位	沖縄県	7.3%	2位	ペルー	11.2%
3位	ペルー	5.8%	3位	中国	8.5%
4位	北海道	5.1%	4位	北海道	5.5%
5位	ポリビア	3.6%	5位	中南米	4.6%

町並み散策

2019年(回答数:340)			2009年(回答数:563)		
1位	京都府	17.1%	1位	イタリア	17.6%
2位	イタリア	7.9%	2位	京都府	11.0%
3位	石川県	7.6%	3位	フランス	8.5%
4位	岡山県	4.7%	4位	ドイツ	6.0%
5位	ヨーロッパ	4.4%	5位	ヨーロッパ	5.7%

リゾートホテル

2019年(回答数:258)			2009年(回答数:473)		
1位	沖縄県	26.0%	1位	ハワイ	29.8%
2位	ハワイ	20.9%	2位	沖縄県	18.0%
3位	北海道	6.6%	3位	インドネシア	6.1%
4位	パリ	5.8%	4位	長野県	4.4%
5位	シンガポール	3.9%	5位	アラブ首長国連邦	4.2%

和風旅館

2019年(回答数:253)			2009年(回答数:446)		
1位	京都府	20.6%	1位	京都府	35.2%
2位	石川県	11.9%	2位	石川県	10.1%
3位	神奈川県	5.9%	3位	神奈川県	8.7%
4位	静岡県	4.7%	4位	静岡県	6.3%
5位	兵庫県	4.3%	5位	大分県	3.8%

おしゃべり旅行

2019年(回答数:180)			2009年(回答数:515)		
1位	北海道	6.7%	1位	ハワイ	11.7%
2位	神奈川県	6.1%	2位	沖縄県、北海道	8.7%
3位	東京都	5.0%			
4位	静岡県	4.4%	4位	東京都	4.9%
5位	千葉県	3.3%	5位	静岡県	3.9%

世界遺産巡り

2019年(回答数:311)			2009年(回答数:628)		
1位	イタリア	9.3%	1位	イタリア	15.8%
2位	フランス	8.0%	2位	エジプト	14.2%
3位	エジプト	7.4%	3位	ペルー	7.0%
4位	ペルー	5.1%	4位	ヨーロッパ	6.8%
5位	スペイン	4.8%	5位	フランス	5.1%

ロングステイ

2019年(回答数:300)			2009年(回答数:351)		
1位	ハワイ	27.3%	1位	ハワイ	19.9%
2位	沖縄県	8.0%	2位	アメリカ合衆国	9.7%
3位	アメリカ合衆国	7.0%	3位	オーストラリア	9.1%
4位	北海道	6.3%	4位	沖縄県	8.0%
5位	オーストラリア	5.0%	5位	フランス	5.4%

パワースポット

2019年(回答数:212)			2009年(回答数:184)		
1位	ハワイ	11.8%	1位	ハワイ	8.7%
2位	三重県	10.8%	2位	宮城県、三重県	8.2%
3位	鹿児島県	6.6%			
4位	アメリカ合衆国	5.7%	4位	鹿児島県	7.6%
5位	オーストラリア、島根県	5.2%	5位	京都府	6.5%

ホテルステイ

2019年(回答数:131)			2009年(回答数:159)		
1位	ハワイ	14.5%	1位	大分県	6.9%
2位	東京都、北海道	6.9%	2位	神奈川県	6.3%
4位	アメリカ合衆国、沖縄県、長野県	4.6%	3位	群馬県、静岡県	5.7%
			5位	熊本県	5.0%

資料:(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

表I-4-5 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2019年)(単位:%)

ジオツーリズム

2019年(回答数:50)			2019年(回答数:59)		
1位	アイスランド	10.0%	1位	東京都	25.4%
2位	ハワイ、オーストラリア、熊本県	8.0%	2位	静岡県	6.8%
			3位	岐阜県、埼玉県	5.1%
5位	神奈川県、北海道	4.0%	5位	茨城県、神奈川県、京都府、群馬県、佐賀県、鳥取県	3.4%

アニメツーリズム

観光列車旅行

2019年(回答数:226)			2019年(回答数:68)		
1位	九州地方	37.2%	1位	北海道	14.7%
2位	北海道	9.3%	2位	オーストラリア、沖縄県	5.9%
3位	東北地方	4.0%			
4位	静岡県	3.5%	4位	東京都、長野県	4.4%
5位	熊本県、中国地方	2.7%			

エコツアー

産業遺産観光

2019年(回答数:39)			2019年(回答数:92)		
1位	群馬県	25.6%	1位	長野県	13.0%
2位	島根県	17.9%	2位	山梨県	6.5%
3位	長崎県	15.4%	3位	兵庫県、愛知県	5.4%
4位	新潟県、九州地方	5.1%			

武将観光

資料:(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

2 旅行の動機

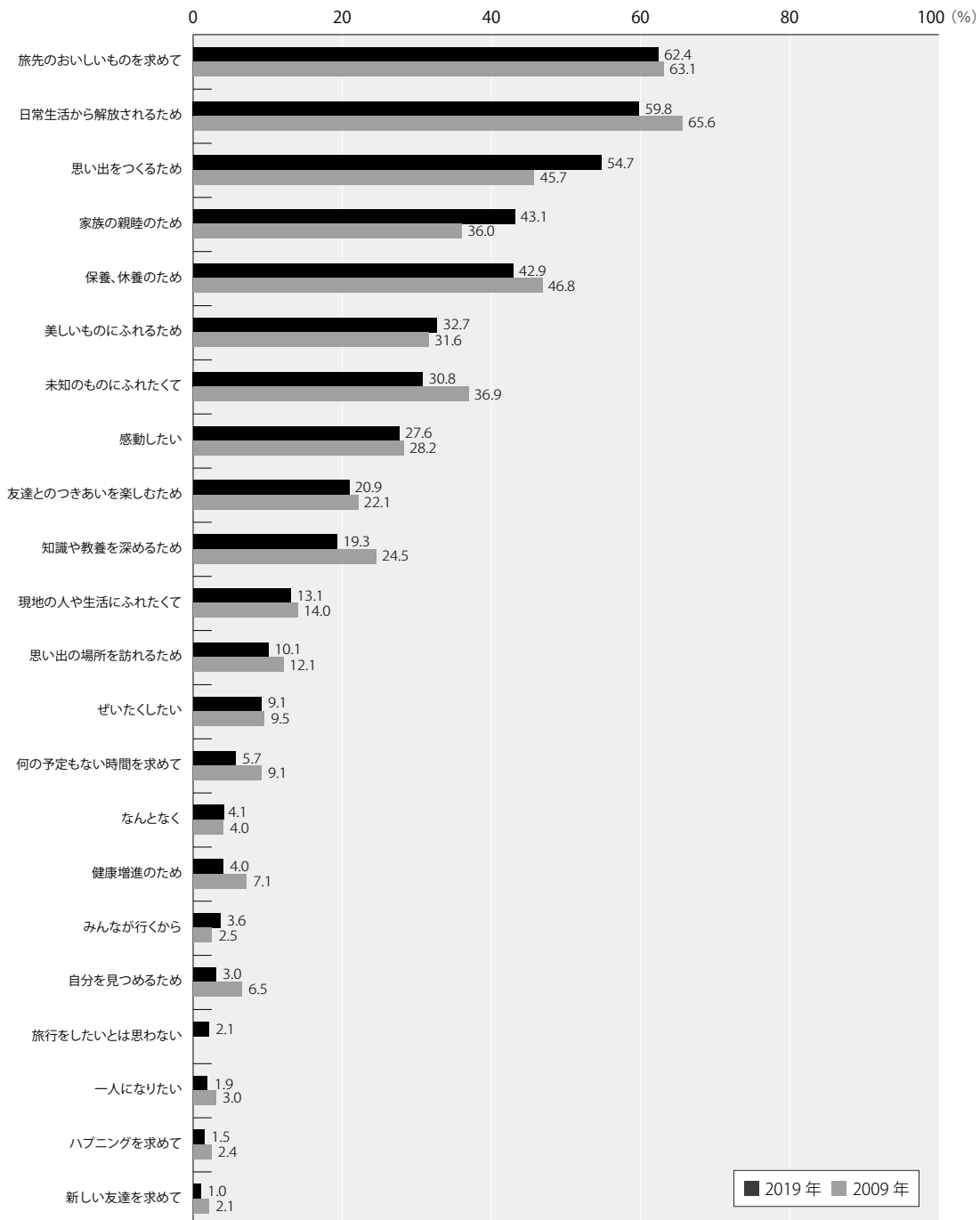
旅行の動機は、「おいしいもの」「日常生活からの解放」

「国内宿泊旅行、海外宿泊旅行をしてみたいと思う動機」として当てはまるものを、あらかじめ用意した選択肢から選んでもらった結果、旅行動機（複数回答）については、「旅先のおいしいものを求めて」が62.4%と最も多く、続いて「日常生活から解放されるため」59.8%、「思い出をつくるため」54.7%、「家族の親睦のため」が43.1%となった（図I-4-2）。

2009年調査と比較すると、「日常生活から解放されるため」「保養、休養のため」のように癒しを求める理由が減少した一方で、「思い出をつくるため」「家族の親睦のため」などが増加した。

先に述べた上位3つの動機について、性・年代別に詳しくみると、「旅先のおいしいものを求めて」「日常生活から解放されるため」については、ほとんどの年代において上位3位に入っている（表I-4-6）。「思い出をつくるため」は、20代・30代・40代と比較的若い世代での主な動機となっていて、年代が上がるにつれて少なくなる。

図I-4-2 旅行の動機（複数回答）



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-6 性・年代別 旅行の動機(複数回答)(単位:%)

男性20代

		2019年	2009年	
1位	思い出をつくるため	61.8	55.8	(2位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	54.9	54.4	(3位)
3位	日常生活から解放されるため	53.9	57.1	(1位)
4位	保養、休養のため	42.2	34.1	(5位)
5位	未知のものにふれたくて	37.3	37.8	(4位)
	友達とのつきあいを楽しむため	37.3	34.1	(5位)
7位	美しいものにふれるため	27.5	24.4	(9位)
8位	感動したい	25.5	24.9	(8位)
9位	家族の親睦のため	21.6	19.4	(10位)
10位	知識や教養を深めるため	19.6	25.3	(7位)

男性30代

		2019年	2009年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	63.0	63.8	(2位)
2位	思い出をつくるため	62.2	51.7	(3位)
3位	日常生活から解放されるため	60.6	64.3	(1位)
4位	家族の親睦のため	46.5	44.9	(5位)
5位	保養、休養のため	42.5	48.3	(4位)
6位	未知のものにふれたくて	32.3	32.4	(6位)
7位	美しいものにふれるため	26.8	22.7	(7位)
8位	知識や教養を深めるため	19.7	19.3	(9位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	17.3	10.1	(11位)
	感動したい	17.3	21.7	(8位)

男性40代

		2019年	2009年	
1位	日常生活から解放されるため	57.9	60.3	(1位)
	旅先のおいしいものを求めて	57.9	56.9	(2位)
3位	家族の親睦のため	56.6	48.5	(3位)
4位	思い出をつくるため	55.9	47.1	(5位)
5位	保養、休養のため	48.7	47.5	(4位)
6位	未知のものにふれたくて	30.3	34.8	(6位)
7位	美しいものにふれるため	25.7	26.5	(7位)
8位	知識や教養を深めるため	21.1	24.0	(8位)
9位	感動したい	20.4	24.0	(8位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	10.5	10.8	(11位)

男性50代

		2019年	2009年	
1位	日常生活から解放されるため	64.6	69.5	(1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	59.2	59.6	(2位)
3位	家族の親睦のため	50.8	43.2	(5位)
4位	保養、休養のため	45.4	54.0	(3位)
5位	思い出をつくるため	43.1	33.3	(6位)
6位	美しいものにふれるため	25.4	29.1	(7位)
7位	未知のものにふれたくて	23.8	44.6	(4位)
8位	感動したい	21.5	23.9	(9位)
9位	知識や教養を深めるため	15.4	25.8	(8位)
10位	思い出の場所を訪れるため	12.3	14.1	(12位)

男性60代

		2019年	2009年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	60.3	59.8	(1位)
2位	日常生活から解放されるため	44.4	50.7	(2位)
3位	保養、休養のため	43.7	41.1	(3位)
4位	思い出をつくるため	42.1	35.4	(6位)
5位	家族の親睦のため	38.9	38.3	(5位)
6位	美しいものにふれるため	31.0	30.1	(8位)
7位	未知のものにふれたくて	28.6	40.2	(4位)
8位	感動したい	27.8	31.1	(7位)
9位	知識や教養を深めるため	19.8	22.5	(10位)
10位	思い出の場所を訪れるため	12.7	16.3	(12位)

男性70代

		2019年	2009年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	52.6	50.8	(1位)
2位	家族の親睦のため	45.4	32.2	(4位)
3位	保養、休養のため	38.1	31.4	(6位)
4位	日常生活から解放されるため	37.1	40.7	(3位)
5位	未知のものにふれたくて	34.0	48.3	(2位)
6位	思い出をつくるため	33.0	28.0	(8位)
7位	美しいものにふれるため	28.9	30.5	(7位)
8位	友達とのつきあいを楽しむため	24.7	21.2	(9位)
	感動したい	24.7	18.6	(10位)
10位	思い出の場所を訪れるため	16.5	16.1	(12位)

女性20代

		2019年	2009年	
1位	思い出をつくるため	79.2	72.6	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	68.3	76.0	(1位)
	旅先のおいしいものを求めて	68.3	74.0	(3位)
4位	保養、休養のため	45.5	46.6	(4位)
5位	未知のものにふれたくて	32.7	40.4	(6位)
6位	友達とのつきあいを楽しむため	29.7	29.8	(5位)
	美しいものにふれるため	29.7	36.5	(8位)
8位	家族の親睦のため	27.7	31.3	(9位)
9位	感動したい	25.7	34.1	(7位)
10位	ぜいたくしたい	23.8	19.2	(11位)

女性30代

		2019年	2009年	
1位	思い出をつくるため	83.3	64.4	(3位)
2位	日常生活から解放されるため	77.5	80.0	(1位)
	旅先のおいしいものを求めて	77.5	75.1	(4位)
4位	家族の親睦のため	65.0	49.3	(5位)
5位	保養、休養のため	49.2	58.2	(2位)
6位	美しいものにふれるため	36.7	32.4	(6位)
7位	未知のものにふれたくて	34.2	31.6	(7位)
	感動したい	34.2	28.9	(8位)
9位	知識や教養を深めるため	20.0	22.2	(10位)
10位	ぜいたくしたい	15.8	19.1	(11位)

女性40代

		2019年	2009年	
1位	日常生活から解放されるため	70.6	80.5	(1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	67.1	70.7	(2位)
3位	思い出をつくるため	62.9	48.3	(4位)
4位	家族の親睦のため	49.7	47.3	(5位)
5位	保養、休養のため	41.3	54.6	(3位)
6位	美しいものにふれるため	32.2	36.1	(6位)
7位	未知のものにふれたくて	23.8	28.8	(8位)
	感動したい	23.8	29.8	(7位)
9位	知識や教養を深めるため	16.8	18.5	(10位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	13.3	15.6	(9位)

女性50代

		2019年	2009年	
1位	日常生活から解放されるため	73.3	77.7	(1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	72.3	70.9	(2位)
3位	思い出をつくるため	55.4	34.5	(5位)
4位	保養、休養のため	52.5	58.3	(3位)
5位	家族の親睦のため	47.5	25.2	(7位)
6位	美しいものにふれるため	45.5	39.3	(6位)
7位	未知のものにふれたくて	40.6	27.7	(9位)
8位	感動したい	33.7	34.5	(8位)
9位	知識や教養を深めるため	27.7	30.6	(10位)
10位	現地の人や生活にふれたくて	18.8	15.0	(11位)

女性60代

		2019年	2009年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	68.8	63.5	(2位)
2位	日常生活から解放されるため	60.9	67.2	(1位)
3位	保養、休養のため	43.0	42.7	(4位)
4位	感動したい	39.8	31.8	(6位)
5位	家族の親睦のため	39.1	25.0	(9位)
6位	美しいものにふれるため	38.3	39.6	(5位)
7位	思い出をつくるため	36.7	33.9	(8位)
8位	未知のものにふれたくて	30.5	40.6	(7位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	29.7	34.9	(3位)
10位	知識や教養を深めるため	18.8	26.0	(10位)

女性70代

		2019年	2009年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	54.5	53.1	(3位)
2位	美しいものにふれるため	50.8	32.3	(7位)
3位	日常生活から解放されるため	49.2	47.7	(2位)
4位	思い出をつくるため	40.2	26.2	(8位)
5位	感動したい	38.6	36.9	(8位)
6位	友達とのつきあいを楽しむため	37.9	46.9	(1位)
7位	保養、休養のため	31.8	33.1	(4位)
8位	家族の親睦のため	30.3	23.1	(5位)
9位	未知のものにふれたくて	28.8	41.5	(6位)
10位	知識や教養を深めるため	25.8	29.2	(10位)

資料:(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

3 旅行の阻害要因

阻害要因は「休暇がとれない」「家計の制約」

「2018年1月～12月中に国内または海外旅行に行かなかった人」に「行かなかった」理由として当てはまるものをあらかじめ用意した選択肢から全て選んでもらった。

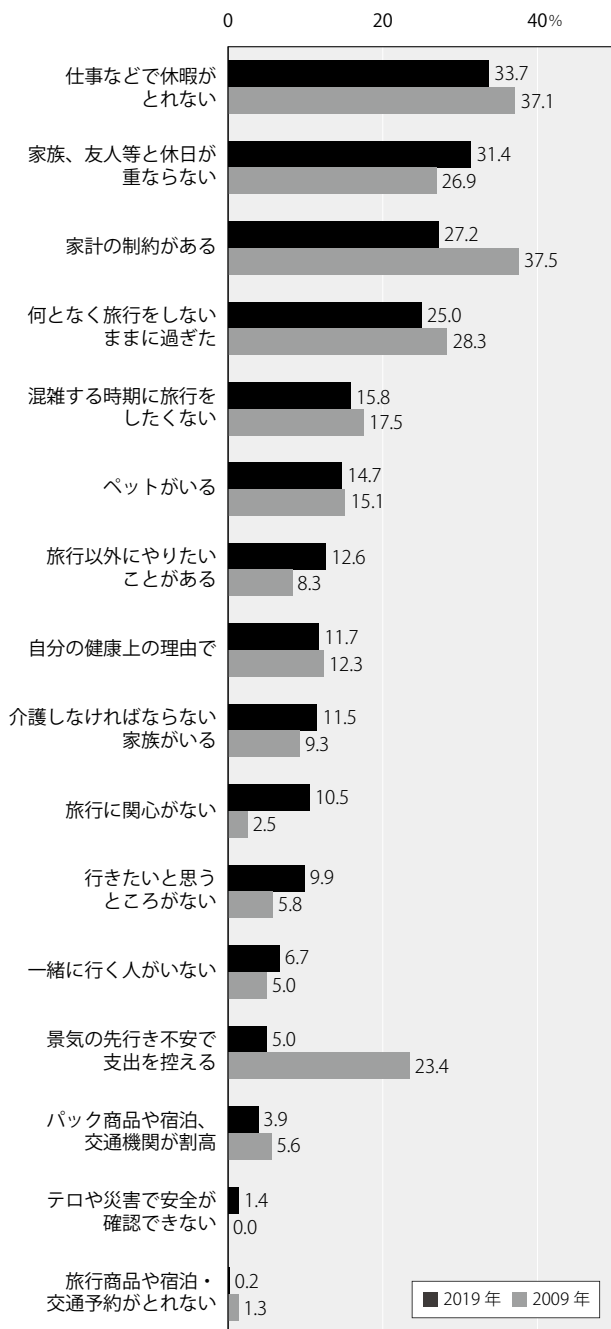
その結果、旅行の阻害要因（複数回答）は、全体では「仕事などで休暇がとれない」が33.7%と最も多く、これに「家族、友人等と休日が重ならない」（31.4%）、「家計の制約がある」（27.2%）が続き、『休暇』と『支出』に関する理由が多く選

ばれた。（図I-4-3）。2009年調査と比較すると、「家計の制約がある」や「景気の先行き不安で支出を控える」など『支出』に関する理由のシェアは減少した一方で、「旅行以外にやりたいことがある」や「行きたいと思うところがない」などそもそも旅行への関心が低いとされる選択肢のシェアがやや増加している。

また、ライフステージ別に旅行の阻害要因をみると、男性はライフステージにかかわらず、「仕事などで休暇がとれない」が上位に挙がっている。

（伊豆 菜津美）

図I-4-3 旅行の阻害要因（複数回答）



資料：（公財）日本交通公社「JTB旅行意識調査」

表I-4-7 ライフステージ別・旅行の阻害要因（単位：%）

男女・未婚

2019年		2009年		
1位	仕事などで休暇がとれない	41.0	1位 仕事などで休暇がとれない	37.1
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	28.2	2位 何となく旅行をしないままに過ぎた	30.8
3位	家族、友人等と休日が重ならない	27.4	3位 家族、友人等と休日が重ならない	28.9

男女・子供なし

2019年		2009年		
1位	仕事などで休暇がとれない	61.5	1位 仕事などで休暇がとれない	55.8
2位	家計の制約がある	42.3	2位 何となく旅行をしないままに過ぎた	44.2
3位	ペットがいる	38.5	3位 ペットがいる	34.9

男性子育て中

2019年		2009年		
1位	仕事などで休暇がとれない	37.3	1位 家計の制約がある	50.0
2位	家族、友人等と休日が重ならない	36.6	2位 仕事などで休暇がとれない	49.3
3位	家計の制約がある	31.3	3位 家族、友人等と休日が重ならない	28.4

男性子育て後

2019年		2009年		
1位	仕事などで休暇がとれない	34.4	1位 仕事などで休暇がとれない	37.3
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	26.2	2位 何となく旅行をしないままに過ぎた	30.4
3位	家計の制約がある	23.0	3位 家計の制約がある	29.4

女性子育て中

2019年		2009年		
1位	家族、友人等と休日が重ならない	45.7	1位 家計の制約がある	52.4
2位	家計の制約がある	32.9	2位 仕事などで休暇がとれない	35.8
3位	仕事などで休暇がとれない	27.9	3位 家族、友人等と休日が重ならない	33.7

女性子育て後

2019年		2009年		
1位	自分の健康上の理由で	31.9	1位 何となく旅行をしないままに過ぎた	27.5
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	30.6	2位 自分の健康上の理由で	26.8
3位	介護しなければならない家族がいる	23.6	3位 家計の制約がある	25.4

資料：（公財）日本交通公社「JTB旅行意識調査」